

公益社団法人日本トライアスロン連合（JTU）
2021年度（令和3年度）第1回臨時理事会 議事録（案）

[1] 開催：2021年4月1日（木）13:00～18:17
形式：インターネット ウェブ会議方式

[2] 出席（理事23名、監事2名）：

岩城光英、國分孝雄、仲井公哉、大塚眞一郎、中山正夫（議案審議前に退席）、岸田吉史、飯島健二郎、鈴木貴里代（16時退席）、山倉紀子、和田知子（15時半退席）、関根明子、山根英紀、富川理充、原澤敦美、上田藍、佐藤圭一、園川峰紀、小林洋、宮本悦子（14時から出席）、大野徹雄、須山浩光、加納修二（15時退席）、宮城直久（以上、理事23名）

萩原政吉、秋山智昭（以上、監事2名）

- ・オブザーバー（2名）中山俊行（オリンピック対策チームリーダー）、齋藤れい（桐蔭横浜大学スポーツ健康政策学部准教授・次期理事候補）
- ・事務局出席（8名）坂田洋治、児玉健太、長江千明、土屋佳司、萩原舞、大岩葵、内藤裕也、島村直子

[3] 議事の経過

JTU 定款第6章（理事会）第34条（決議）により、ウェブ会議進行役の児玉事務局次長が、一時離席時の申告など進行上のお願いの後、理事出席を一人ずつ確認し、定足数を満たしていることを報告した。定款33条（議長）により、岩城会長が議長として開催宣言を兼ねた挨拶を行った。その際、前回の2020年度第4回定時理事会で起きた事象について議長から謝罪と提案があった。一つ目は、理事会休憩中に出席理事の不適切発言があり、その内容が出席者に伝わったことについて、理事会主催者として謝罪があり、当該の中山常務理事より反省と謝罪の言葉があった。二つ目は、出席理事の利害関係にかかわる議案を討議・決議する際の議長役としての対応にかかわる謝罪で、今後の理事会進行について次のことが提案された。

- ・提案骨子）各議案について、議長は、利益相反の抵触を統制することに配慮する。これにより、議案に利益相反があると判断された場合は、決議を棄権する。

本案について質疑応答の後、提案は異議なく了承され、議案の審議に入った。

第1号議案）諸規程の変更案（細則、専門委員会規程、役員候補選考委員会規程）

標題について、大塚専務理事及び事務方から説明があり、質疑応答の後、議長が賛否を求めたところ、異議なく承認可決した。

- ・承認事項 1) 役員候補者選考委員会規程

- ・説明骨子) 第3条③の「アスリートを代表する者」を「オリンピック、パラリンピック、世界選手権などに出場実績のある者」に修正する。
 - ・承認事項2) JTU 細則/事務総長施行に伴う、細則・事務局規程の変更
 - ・説明骨子) 第17条第2項に追記し、「2. 事務総長、事務局長及び職員は社員総会、理事会及びその他の会議に出席して意見を述べるができる」とする。
 - ・承認事項3) 専門委員会規程/委員会の追加に伴う内容の変更
 - ・説明骨子) 第7条(専門委員会の設置)にある「強化委員会」を削除し、「コーチ委員会」、「E D I 委員会」、「コンプライアンス委員」、「セミナー・フォーラム委員会」の説明を追加する。
- 補足説明) E (=equity) D (=diversity) I (=inclusion)の訳語については次回理事会までに関係各所に聞き取りの上、調整を行う。

第2号議案) 東京2020大会日本代表選手選考基準 案

標題について、中山リーダー、事務方から説明があり、質疑応答の後、議長が賛否を求めたところ、異議なく承認可決した。なお、飯島常務理事、山根理事、上田理事、佐藤理事は、本議案に特別利害関が認められるため、審議及び決議に参加しなかった。

- ・承認事項1) 日本代表選手選考対象大会として、2021年横浜大会をアブダビ大会の代替大会とする。提案通り大会を定量評価する条件をつける。
- ・承認事項2) 第6優先の評価対象大会として、女子は横浜大会、リーグ大会を設定する。男子はアジア選手権、横浜大会、男子特別大会を評価対象大会に設定する。また、各種詳細な条件設定を行う。
- ・承認事項3) 女子は3枠獲得のため、今後の大会を戦略的に戦うこととする。ワールドトリアスロン公式大会JTU出場推薦基準の対象期間を変更し、強化指定B選手も対象大会に推薦を行う。

第3号議案) パリ2024準備デスク(戦略プラン、組織体制、関連事業)

標題について、山根理事、事務方から説明があり、質疑応答の後、議長が賛否を求めたところ、異議なく承認可決した。

- ・承認事項1) ハイパフォーマンスチームの設置及び強化戦略プランの骨子案
- ・説明骨子)・説明骨子) 現オリンピック対策チームをハイパフォーマンスチームに名称変更(2021年10月1日から)する。パリ2024、ロス2028、それ以降の中長期強化戦略プランとしてアスリートパスウェイシステム(FTEP)を推進する。全国レベルでの選手の発掘・育成・強化を行う仕組みをリージョナルリーダーと共に構築する。
- ・承認事項2) J-STARプロジェクト(2021年4月~2022年3月)の推進
- ・説明骨子) 2021年度に採択されたJSC委託事業。すでに52名の応募があり、この中から記録会を通じてポテンシャルのある選手を発掘し、強化へと押し上げていく。

第4号議案) 強化基準関連 (日本選手権・年代別選手権等)

標題について、事務方から説明があり、質疑応答の後、議長が賛否を求めたところ、異議なく承認可決した。

- ・承認事項1) 日本トライアスロン選手権出場基準 (案)
- ・説明骨子) 国際標準に合わせ、出場枠を60名に変更する。ジャパンランキング枠を40名、地域ブロック枠は20名とし、前年度の成績に応じてブロック枠の配分を決定する。推薦条件はスイム、ランともに15級以上とし、枠が満たなかった場合に指定大会からの推薦を可能とする。ブロック代表の配分方法は、選手の結果に応じてジャパンランキングの総ポイント数から算出に変更する。認定記録会の標準タイムを変更する。
- ・承認事項2) 日本U23・U19 トライアスロン選手権出場基準 (案)
- ・説明骨子) 加盟団体推薦基準をU23は認定記録会でスイム19級以上、スイム・ラン計20級以上とする。U19認定記録会でスイム19級以上、スイム・ラン計21級以上とする。安全テクニック動画、自転車整備の研修プログラム、バイク点検を推薦条件とする。
- ・承認事項3) 日本U15 トライアスロン選手権出場基準 (案)
- ・説明骨子) 加盟団体推薦基準を認定記録会でスイム19級以上とする。安全テクニック動画、バイクの整備を推薦条件とする。
- ・承認事項4) 全国高等学校トライアスロン選手権 (2021/那須塩原) 出場基準 (案)
- ・説明骨子) 競技距離をスーパースプリント (スイム500m、バイク10km、ラン2.5km) に設定。自転車の研修プログラムを推薦条件とする。

第5号議案) 強化認定関連 (JOC強化選手・スタッフ等)

<強化関連>

標題について、事務方から説明があり、質疑などないことが確認された後、議長が賛否を求めたところ、異議なく承認可決した。

- ・承認事項1) ワールドトライアスロンU23ジュニア選手権 (2021/エドモントン) 選考基準 (案)
- ・承認事項2) アジアトライアスロンU23選手権 (2021/ヌルスタン) 選考基準 (案)
- ・承認事項3) ワールドトライアスロン・ジュニア選手権 (2021/バミューダ) 選考基準 (案)
- ・承認事項4) アジアトライアスロン・ジュニア選手権 (2021/ヌルスタン) 選考基準 (案)

<認定関連>

標題について、事務方から説明があり、質疑応答の後、議長が賛否を求めたところ、意義なく承認可決した。なお、飯島常務理事、山根理事、上田理事、佐藤理事は、本議案に特別利害関係が認められるため、審議及び決議に参加しなかった。

- ・承認事項1) 2021年度JOCナショナルコーチ・専任コーチ スタッフ推薦一覧
ナショナルコーチ: 飯島健二郎、アシスタントナショナルコーチ: 山倉紀子、尾内香、専

任コーチングディレクター（トップアスリート担当）：中山俊行、パトリックケリー、ジェイソンリーブレクト（以上6名は前年継続）、専任コーチングディレクター（ジュニア担当）：山根英紀（新規）

JTU 契約コーチ：男子アシスタントコーチ：村上晃史、川合貴紀（継続）

- ・承認事項 2) 2021 年度 JOC オリンピック強化指定選手（推薦案）
認定期間：2021 年 4 月 1 日～2022 年 3 月 31 日
女子：上田藍、高橋侑子、佐藤優香、井出樹里、岸本新菜、福岡啓
男子：ニナーケンジ、古谷純平、北條巧、小田倉真
- ・承認事項 3) 2021 年度 JOC ネクストシンボルアスリートプログラム推薦候補選手（案）
中嶋千紗都選手を 1 名推薦する
- ・承認事項 4) 2021 年度 JOC ジュニアオリンピックカップ大会及び JOC オリンピック有望選手（案）
女子：中嶋千紗都、林愛望の 2 選手を推薦する。
- ・承認事項 5) 2021 年度 JOC インテグリティ教育推進事業/担当者の配置
山倉紀子常務理事、事務局強化担当 2 名を配置する。
- ・承認事項 6) 2021 年度 JTUN ショナル女子強化支援事業（案）
- ・説明骨子) 東京オリンピック競技大会での目標達成に向け、代表候補選手及び帯同スタッフの個別強化活動事業を支援する。実施期間：2021 年 4 月 1 日～6 月 30 日

第 6 号議案) マルチスポーツ関連（世界 LD 選手権推薦基準）

標題について、事務方から説明があり、質疑応答の後、議長が賛否を求めたところ、異議なく承認可決した。

- ・承認事項) 2021 年ワールドトライアスロンロングディスタンストライアスロン公式大会エリート/2021 年ワールドトライアスロンロングディスタンストライアスロン選手権推薦基準案および 2021 年アイアンマンプロ登録証明書発行基準（案）
- ・説明骨子) エリート部門については世界で戦える選手を推薦するための大会を設定し、上位入賞を目指すために、各種目の目標数値のクリアに努める。

第 7 号議案) エイジグループ関連（エイジランキング等）

標題について、事務方から説明があり、質疑応答の後、議長が賛否を求めたところ、異議なく承認可決した。

- ・承認事項 1) 2021 年 JTUE イジグループランキング（案）
- ・説明骨子) 主な変更点は、①対象大会カテゴリー（S、A、B、C）の廃止し、②スタンダードとロングに加え、スプリントを新設する。
- ・承認事項 2) 2022 年ワールドトライアスロン世界・アジアエイジグループ・スタンダードトライアスロン選手権日本代表選手エントリー基準（案）

- ・承認事項 3) 認定記録会（エイジグループ対象認定級とタイムの新設）
- ・説明骨子) 31 級から 50 級までをエイジグループ対象にタイムを設定する。

第 8 号議案) 技術審判関連（東京 2020 大会 NTO、技術代表審判長）

標題について、事務方から説明があり、質疑などないことが確認された後、議長が賛否を求めたところ、異議なく承認可決した。

- ・承認事項 1) 東京 2020 大会 NTO 候補者の推薦変更
- ・説明骨子) 2019 年 3 月 15 日に承認いただいた NTO のうち、古郷康介氏から辞退の申し出があったため、推薦候補の入れ替えを行う。
- ・承認事項 2) 第 1 種公認審判資格＜新規 4・更新 52 名＞
- ・承認事項 3) アジアトライアスロン選手権審判長の交代

第 9 号議案) 2021 三重国体におけるトップアスリーの予選会免除適用

標題について、関根理事から説明があり、質疑などないことが確認された後、議長が賛否を求めたところ、異議なく承認可決した。

- ・承認事項) 第 76 回国民体育大会（三重県）におけるトップアスリーの予選会免除適用
- ・説明骨子) 対象選手は男女とも強化 A 指定以上とする。

第 10 号議案) 専門委員会委員の追加

標題について、事務方から説明があり、質疑なく議長が賛否を求めたところ、異議なく承認可決した。

- ・承認事項) J T U 技術委員会に北岡聡（茨城県）委員を追加推薦

第 11 号議案) 加盟団体交付金の対応

標題について、事務方から説明があり、質疑などないことが確認された後、議長が賛否を求めたところ、異議なく承認可決した。

- ・承認事項) 島根県トライアスロン協会に対する支援交付金 20 万円
- ・承認事項) 兵庫県トライアスロン協会に対する支援交付金 30 万円
- 説明骨子) コロナ禍における感染症対策大会・オンライン講座の開催運営準備費用に充当する。

第 12 号議案) 2021 J T U オフィシャルパートナー・サポーターリスト

標題について、事務方から説明があり、質疑応答の後、議長が賛否を求めたところ、異議なく承認可決した。

- ・承認事項) 2021 J T U オフィシャルパートナー・サポーターリスト（案）
- ・説明骨子) オフィシャルパートナーは昨年から 1 社減の 25 社。従来は大会での露出が主

たる協賛理由だったが、地域支援事業に関心をもつパートナーが増加している。

第13号議案) コナミスポーツのパートナー契約

標題について、事務方から説明があり、質疑応答の後、議長が賛否を求めたところ、異議なく承認可決した。

- ・承認事項) コナミスポーツクラブとのパートナーサービス契約の見直しの方向性
- ・説明骨子) 2021年度は契約を締結したが、店舗数・利用者数が減ってきており、2022年度は廃止(解約)の方向で進める。

第14号議案) 2021年度JTU理事会・社員総会開催案

第1回理事会 2021年6月3日(木) *2日(水)に変更

定時社員総会 2021年6月22日(火)

臨時理事会 2021年6月22日(火)

第2回理事会 2021年9月8日(水)

第3回理事会 2021年12月8日(水)

第4回理事会 2022年3月予定

- ・補足説明) 上記日程案については改めて検討し確定する。また、オリンピック・パラリンピック代表選考にかかわる臨時理事会を改めて設定する。

[5] 報告事項

- ・JTU事務局の固定電話をスタッフのスマートフォンに転送するサービスを導入。
- ・関東ブロックの国体予選は神奈川県連合主管によりスプリントで実施。茨城県では3月20日にサーキット場を利用して200キロタイムトライアルを実施した。
- ・中国ブロックでは、日本選手権の選考と国体予選会を兼ねて6月6日に大会を行う。他県からの参加に幅を拡げて実施できる可能性がある。
- ・JTUの今年のテーマは「原点回帰」、「地域に寄り添う」。地域での課題にサポートが必要な場合はJTU事務局まで。
- ・スワコエイトピークス大会の一次募集は定員に達した。東京・関東・東海ブロックにはTO派遣でお手伝いをお願いしたい。

[6] 閉会宣言

仲井副会長の挨拶の後、本日の理事会がすべて終了したことが告げられ、18時17分に閉会した。

議事録署名人：

(岩城光英・議長・会長・代表理事)

(印) 2021年 月 日

(荻原政吉・監事)

(印) 2021年 月 日

(秋山智昭・監事)

(印) 2021年 月 日

(大塚眞一郎・専務理事)

(印) 2021年 月 日

(宮本悦子・理事)

(印) 2021年 月 日

以上